



2021 年度 昭和大学

【 講 評 】

大問構成は出題傾向に変化が見られた昨年度を踏襲し、大問 $\boxed{1}$ が短文適語選択(昨年度の5択から4択に変更)、大問 $\boxed{2}$ 、大問 $\boxed{3}$ が総合問題であった。難易度の高い問題も散見されるが、概して平易な出題である。文法問題は、基本知識で十分解ける問題であり、大問 $\boxed{1}$ での失点は避けたい。一方で、大問 $\boxed{2}$ ・ $\boxed{3}$ で和訳問題が追加されており、日頃から記述力を鍛える必要がある。

【 解 答 ・ 解 説 】

$\boxed{1}$

1. B

英文中に V がないので、()には動詞が入る。空所の直後に know の目的語がないので、受動態の B が正解。

2. B

let O C は「O に C させる」の意味。この時 C に当てはまる動詞は V 原形をとる。()の直後に persuade の目的語がないので、受動の形になっている B が正解。ここでは文意から「説得される」という意味で選んでもよい。

3. C

tell A from B は「A と B を区別する」の意味。

4. C

grateful to 人 for ~ は「~してもらって(人)に感謝している」の意味。

5. D

give up one's seat は「席を譲る」という意味。hand over にも譲るという意味があるが、「権利を譲る」といった時に使われる。

6. D

sit(stay) up Ving は「~をして夜更かしをする」の意味。stay on~ は「~(任務・年限などの後も)居続ける・留任する」の意味。

7. A

It remains to be seen ~は「～はまだ分からない」という意味。it は形式主語で whether 以下の部分を指す。remain to の後ろに受動態が来ることで「(主語)が～されないまま残っている」という意味を表す。

8. A

meet the deadline は「締め切りに間に合う/間に合わせる」という意味。

9. B

be not much of a ~は「大した～ではない/あまり～ではない」という意味。

10. C

come down with (病名)で「(病名)にかかる」という意味。

11. C

without~は「もし～がなかったら」という仮定の意味でも使われる。文末に then(その時)とあることから、過去の出来事であると判断し、仮定法過去完了を示す would have Vp.p. を選ぶ。

12. D

be to 不定詞で「予定、運命」の意味を持つ。これに yet(まだ)が加わった”~ is yet to do”は「まだ～していない」という意味になる。

13. D

in vain は「いたずらに/無駄に」という意味である。”I tried to persuade ~”の文に挿入されている。

14. D

nor の後ろは nor V S のように倒置となる。

15. A

half the size of ~という語順で「～の半分の大きさ」を表す。

2

1. (1) 4 (2) 1 (3) 3 (4) 1 (5) 2

(1) conundrum は「難問」の意味。this conundrum とあることから、それ以前の部分に注目すると、第一段落は冒頭で提示された質問について述べていることがわかる。このことから this conundrum は”Does happiness matter?” (2 文目の this question もこれを指す)を示していると判断し question を選ぶ。

(2) **adversity** は「逆境」の意味。「私たちは皆 **adversity** に遭遇し、その結果怒りや悲しみ、苛立ちやその他の負の感情を抱くのはとても自然なことである。」とあることから、負の感情を抱かせる状況が当てはまると推測できる。よって「逆境」を示す **hardship** を選ぶ。

(3) **expenditure** は「支出」の意味。「お金を節約し、**expenditure** をよりしっかりと管理/抑制する傾向にある」と訳せることから「支出」を意味する **spending** を選ぶ。

(4) **contagious** は「伝染性の」という意味。「幸せは **contagious** であるため、より幸せな人々は周りの人も幸せになるよう手助けをするという証拠さえある。」と訳されるため、**contagious** は「人に影響を与える」という意味を持つと推測できる。**communicable** は「伝達できる」の意味を持つためこれが正しい。

(5) **figure** は通例修飾語を伴って「人物/名士」という意味を持つ。該当部分は「影響力のある **figures** は幸福が繁栄の総合的な基準、また公共政策の主な指針となることを求めている」とあり、文意から **figure** には人や組織といった主体が当てはまると考えられる。

2. (ア) 2 (イ) 1 (ウ) 3 (エ) 2 (オ) 3

(ア) 第二段落では人間が日々様々な感情を抱き、そのことが生存に役立っているという旨が述べられていることから (ア) には **emotional**(感情的な)が当てはまる。

(イ) 「(イ)を勧めることは人間たる条件の一部を否定することになるだろう」と訳せる。直前の文で「逆境に遭遇した時負の感情を抱くのは自然なことだ」と述べられている。この直前部分が人間たる条件の一部と考えられるため、(イ)にはその条件と「反対のこと」が当てはまると考えられるので1の **otherwise** が正解。**otherwise** には、前に出てきた語と対比の意味を取る用法がある。

(ウ) “the (ウ) is true” の内容をダブルコロン(:)以下で言い換えている。その内容は「幸せとはただ気分が良いということではなく、実際に私たちの仕事・成績や健康、関係性など多くのことへの幅広い利益に通ずるものだ」とある。一方で(ウ)の前の文章を見てみると「幸せな人はどうも怠け者で、無力な存在になりやすい(というのが幸せに関してよくある思い違いだ)」とある。これより(ウ)の前後で反対のことをいっているのがわかるため **opposite** が当てはまる。

(エ) (エ)の前で「20歳以上の人々の幸福は、彼らの人間関係の中で「三段階離れた関係」の他者に影響する」とある。また(エ)の後ろでは「私たちがどれほど幸せであるかは私たちの友人の友人の友人の気持ちに大きな影響を与える」とあり、これらは同じ意味であることがわかるため、言い換えを表す **In other words** を選ぶ。

(オ) **when it comes to** ~で「～のことになると/～に関して言えば」という意味の慣用表現。

3. (III)

問題の文は「そのため、成功が幸せの鍵になるというよりも、実は幸せが成功の鍵になりうるということを研究が示している。」と訳せる。順接で前の文と結ばれていることから、この直前の段落では「幸せが成功に好影響を与える」という内容を述べているはずである。これに該当するのは[6]である。

4. 【解答例】幸せとは、全体的に可能な範囲で最も良い人生を送るために、物事がうまくいっている時間を最大限活用できることだけでなく、物事がうまくいっていない避けがたい時間に効率的に対処できることでもある。

make the most of ~で「~を最大限活用する」という意味。

5. 【解答例】世論調査において、イギリスの成人の 8%が全体的に最も豊かであることを望んだのに対し、大多数の 87%が全体的に最も幸福で健康であることを望んだこと。

the findings(その発見)とあることから、その直前部分の世論調査の結果について述べられている部分をまとめる。

3

1. 2

直前部分では「大学では特に二月と三月に鬱が蔓延する」という旨が述べられている。Yet 以下では「様々な学生が全く違ったやり方で鬱に対処することは、私にとってはずっと明らかなことだ」と述べられている。一旦は事実を認めつつ「それにも関わらずそれでも」と続けるのが最も自然であることから 2 を選ぶ。

2. (ア) 3 (イ) 2 (ウ) 1 (エ) 4

(ア) (ア) を含む文の前は Some ~, Others ~ つまり「~する人もいれば、~する人もいる」という構造をとっている。前半部分 Some~では「すべてのことをほったらかす人もいる。」とあり、Others 以降では「決まりが悪いと感じながらも(ア)をする」と述べている。前半との対比を考慮し「~を続ける」という意味を持つ hang on を選ぶ。

(イ) 該当文の後半、and 以下 left them no route to success は「成功への道筋を残さない」といった意味となり、前半の文と等位接続詞 and で並列構造となっているため、同義にするために 1 の labeled を当てはめる。

(ウ) 該当部分は「彼らは憂鬱に感じれば感じるほど、(ウ)する。つまり問題を解決するための行動をより取らなくなるのだ。」と訳せる。これより(ウ)には、セミコロン(;)以下と同じ意味を示す言葉が当てはまることから、let things go(物事をなすがままに任せる)を選ぶ。

(エ) (エ) に動詞を当てはめると、接続詞が足りないため、準動詞になっている 4 を選ぶ。

3. 2

[6]段落では the growth mindset(成長型マインドセット)を持った人が鬱状態になった際に、その積極的な行動から鬱状態であると外部からは認められなかった事例を挙げている。[7]段落はこの事例をまとめる 1 文であることから、成長型マインドセットを持った人がうつ状態にある時どのような行動をとるか述べている。これについては[5]段落の最終文にもまとめられていて、"The worse they felt, the more determined they become!"とあることから determination(決意)を選択する。

4. 【解答例】無能で無価値な人間未満の存在であり、成功への道もないこと。

[3]段落において the fixed mindset(固定型マインドセット)を持った人々が、物事がうまくいかないことをどう捉えるか述べている部分をまとめる。”～ that the setbacks meant they were incompetent and unworthy :～“の部分について字数制限に合わせてまとめ直す。

5. 【解答例】彼らが賢く才能に恵まれていても、この考え方によって彼らの対処能力は奪われてしまうようだ。

rob A of B で「A から B を奪う」の意味。また、coping resource については coping は cope の動名詞。また resource は資質といった意味があることから「対処能力」と訳せる。

6. 【解答例】失敗は苦しいものの自分自身を規定するものではなく、能力を伸ばす、つまり自分自身を変化・成長させることが可能ならば、成功への道を多く残してくれるもの。

[10]段落の failures may ~以下について字数制限に合わせてまとめる。